

東京農業大学の学生が中山間地域有機栽培に向けた試験研究を実施

< 新潟県 >

市町村・集落の名称	上越市 谷浜・桑取地区
協働の相手（企業や大学等）の名称	東京農業大学
仲介者・コーディネーターの名称	新潟県上越市
協働のポイント	平成8～10年度に、上越市における環境保全型農業に関する調査・研究を委託（平成11年度も同校へ委託事業有り）した経緯があり、東京農大が新農法確立のため上越市で試験研究を開始することには問題はなかった。
協働のきっかけ・経緯	平成10年度に「新農法確立のための生物農薬など新素材開発」のテーマで、文部科学省の学術フロンティア共同研究に採択され、平成11年度から「学術フロンティア推進事業」を実施。平成16年度から第2期へ継続。その後、平成17年4月に上越市と協力協定を締結後、上越市谷浜・桑取地区で中山間地有機栽培に向けた試験研究を実施し、現在に至る。
取組の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ J A S 認証有機米、特別栽培米などの水稻栽培（約4.4ha） ・ そば、カボチャ、サツマイモ、エダマメ、ジャガイモなどの畑作物栽培（約4.5ha） ・ スイカ、アスパラ菜などのハウス栽培（5棟） なお、東京農業大学の学術フロンティア共同研究として <ul style="list-style-type: none"> ・ 有機農場経営実験 ・ 畑雑草の抑制試験研究 ・ 水稻及び野菜の有機栽培実験成果の取りまとめ 上記に係る作業等に同大学生、留学生が随時、上越市を訪れている。
農村地域への効果	平成20年4月、研究成果を実際の農業経営の中で実証するため、付加価値の高い有機農法を中心にした農業生産、経営に取組む、株式会社じょうえつ東京農大を設立。株式会社じょうえつ東京農大は有機農法に賛同する周辺農家を巻き込んで農産学連携を実践している。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	インターネットを利用した有機農法農産物の販売・紹介はもちろんのこと、東京農大の収穫祭等イベント参加や東京農大付近（世田谷区）の商店に有機農法農産物を卸すなど、環境保全型農業の取組を紹介し、都市部での販売促進に結び付けている。
仲介者等の役割	東京農大の取組みが中山間地域農業のモデルともなりうることから、行政として可能な支援をしていく。
今後の課題	株式会社じょうえつ東京農大としては、有機農法に賛同する農家へ委託栽培を今以上に広げ、都市部中心に販売を進める計画であり、更なる販路拡大に取組む必要がある。
関連事業（国・都道府県等）	文部科学省 学術フロンティア推進事業